

高調協発第640号  
平成28年3月9日

社 員 各 位

公益社団法人 高知県公共嘱託登記  
土地家屋調査士協会  
理 事 長 泉 清 博

## ドローンの勉強会開催について

各位 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は協会の活動に積極的にご協力いただき、改めて御礼申し上げます。

さて、当協会が計画してきた高知市の学校にヘリサインを設置する「新学校基準点設置事業」が、新聞報道やテレビ報道で大きく取り上げられ、公益法人として広く不特定多数の市民の公益に資する事業であると高く評価をいただいております。

この事業は、過去に中学校に寄贈していた学校基準点設置事業を、より市民にわかり易い公益目的事業として発展させたもので、災害時だけでなく平時に市民の目に触れ関心を持っていただくことを目指し、ホームページ上で設置状況が確認できるよう、ヘリサインをドローンによって空撮する予定です。

ところで、昨年末に野村総研から公表された「将来、技術革新により人工知能やロボットにより代替可能な職種」として「測量」が挙げられ、また日本経済再生本部から出された「ロボット新戦略」を見ても明らかなように、測量技術にも革新の波が押し寄せてきつつありますが、この技術の中心となるのはドローンを使用した技術なのです。

今回、ヘリサインを撮影するにあたり、当協会は、一般財団法人 JAREX（内閣府「小型無人機の更なる安全確保のための制度設計に関する分科会」構成員）のメンバーの中から豊富な操縦経験のある高見雅之氏をお招きし撮影をお願いしておりますが、せっかくの機会なので、我が高知協会の中で興味ある社員のために1時間程度の講演をお願いしたところ、快諾していただきました。

そこで、作業の支障にならないよう別紙の日程で勉強会を開催することといたしました。

会館で午前9時より1時間程度の講演を聞いてから、実際に愛宕中学校に行き空撮する状況を見ていただく予定です。

参加希望者は、3月25日（金）までに事務局に申し出てください。

記

日 時 平成28年4月1日(金) 午前9時～10時

場 所 高知県土地家屋調査士館 3階会議室

講 師 一般財団法人 JAREX  
エグゼクティブフェロー 高見 雅之 氏

演 題 「ドローンの測量技術への応用について(仮題)」  
(ドローンを使用した撮影方法(愛宕中学校に移動後、  
空撮を見学し流れ解散。))